

## 議会報告会実施報告書

開催日時	平成 30 年 11 月 10 日 午前 10 時～11 時 30 分	開催会場	久々利地区センター
出席議員	澤野 伸、伊藤 壽、板津博之、可児慶志、天羽良明 伊藤健二、川合敏巳、出口忠雄、野呂和久、勝野正規		
班長	伊藤健二		
参加者数	16 名		
実施内容	議会だよりを基にして、平成 29 年度決算審査報告を中心に報告をした。 後に、災害に備えてのテーマで意見交換を行った。		
質疑および 主な意見等	<p><b>&lt;1 グループ&gt; 報告者 板津博之 記録者 可児慶志</b></p> <p>○家庭での災害に対する備えを確認。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美濃加茂市での断水を契機にして、飲料水のローリングストックを始めた。</li> <li>・汚濁水から飲料水を造る 1 機 200ℓ の濾過装置を 2 機設置している。さらにガソリンを 10ℓ、ローソクなどをストックしている。</li> <li>・飲料水等は 400ℓ の電気温水器で確保できる。他にはマッチの保管をしている。</li> <li>・被災して新築をした際に、免振装置を設置した。(震度 2 程度では全く揺れを感じない) エコ住宅で補助金を受けて、太陽光発電と連動した蓄電装置を設置した。(11 時間の停電があったが非常用が作動し、最低の日常生活に支障はなかった) 豪雨時にはライブカメラの映像を確認している。</li> <li>・空き部屋に転倒しそうな家具を集め、日常生活で使用頻度の高い部屋には極力物を置かないようにしている。</li> </ul> <p>○地域での課題について提起して頂く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・久々利地区は昭和 56 年以前建設建物が多い。耐震補強でも高齢世帯では多額の出費を要するので改修を躊躇している。</li> <li>・集会所の耐震補強にも補助の充実を求める。本市で個別の対応策(シェルター設置など)を検討されたい。</li> <li>・丸山地区は豪雨時に久々利川へ県道から大量の流入水があるので、対応策を考えて欲しい。</li> <li>・地域で最低限のチェックはしているが、豪雨時の小淵ダムの監視体制、対応策の充実を望む。</li> </ul> <p>○地域での災害対応を聞きました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・丸山地区等での被災体験により、久々利地区は防災意識が高い。</li> <li>・自治会役員には防災士の資格を取得するよう推進している。自治会役員と防災会が連携した組織化を行い、防災関係は防災会が中心に活動できるような体制づくりに向けて移行計画を策定中です。</li> </ul>		

- ・防災会の活動をさらに活発化させるためには、備品等の整備が必要になるので、補助金や、助成金の充実を期待します。
  - ・さらに防災会のメンバーを中心に地域リーダーの養成を行い、避難所の運営や、祭りの運営、まちづくりの役割を担ってほしい。
- 本市全般的な課題を指摘してもらいました。
- ・消防団員の確保策を抜本的に見直してほしい。
  - ・防災無線で火災情報を中止したり、防災無線の廃止をすることについては対応策を充実するなど、慎重に対応してほしい。

## <2グループ> 報告者 天羽良明 記録者 伊藤健二

### テーマ「災害への備え」

議会 8 月臨時会にて役員の改選、H29 年度決算の概況を紹介した。一般質問から、各議員が行った防災対策について、かい摘んで紹介。災害時の情報共有の課題、消防火災広報の今後、すぐメールかこの普及、水位計設置と避難対策などに話が及んだ。

久々利防災士会から、呼びかけに応じて多数参加され、活動記録 CD を頂く。集会後、まとめ役の田口（自治連元会長）氏が、「要は人づくり」といったのが印象的である。

### 『総務企画委員会所管分』

#### 「消防無線広報の中止について」

火災放送がなくなると不安だ。携帯電話等を持たない者はどうなるか。何か代替案はないのか。

#### 「水位計について」

設置の基準は何ですか。久々利川の氾濫は上流の丸山あたりで水害時には、目測水位で判断したというもの。どの様に水位計を活かすのか、解るように示してほしい。地域特性（地形、河川環境など）を踏まえた避難の基準、避難誘導の体制がいるのではないかと。

#### 「高齢者の避難、避難介護について」

小滝苑では 6 8 世帯中 8 名の高齢独居世帯がある。避難対策は大きな課題だ。地域共助の課題として苦労している。

### 『建設市民委員会所管分』

#### 「リニア中央新幹線について」

どうなりますか？荒川豊蔵資料館の入口、真上を通過する予定。館の横 20M を時速 500km で頻繁に通過する、騒音・衝撃波、環境への悪影響はないのか心配・不安。トンネル工事で、「滝が洞ため池酸性水問題」（美濃帯土壌汚染）の再発は困る。

#### 「太陽光発電について」

浅間山の麓にメガソーラー（5ヘクタール規模）もできてくるようだ。里山がどうなってゆくのか不安だ。

#### 「柿下のため池工事の進捗」岐阜県の所管？

中部国際ゴルフ近くのため池は、どうなっているのか。盛土されて、池が狭くなっているようだ。堰堤の耐震補強工事とも聞いたが、終了か？

『教育福祉委員会所管分』なし

『その他』なし

<3グループ> 報告者 川合敏巳 記録者 出口忠雄

参加者の意見

◎ハザードマップについて

- ・ハザードマップの目的とするところは避難所へ逃げることだと思う、
- ・ハザードマップの活用は見てくださいだけでは分かり辛い。
- ・ハザードマップは県・市で作成されているがダムの決壊は想定されていない。
- ・ハザードマップは当地域での作成が望ましい。
- ・ハザードマップは疑問に思う、地価が下がる。
- ・ハザードマップの活用法が理解されていない。ダムの決壊が想定されていない、ダム決壊への対応が無いのはおかしい。

◎火災放送中止、防災メールについて

- ・火災時の放送が中止になると、火災発生が分からない。すぐメール可児への登録がしていない消防団員の対応はいいのか。火災放送は継続を。
- ・すぐメール可児への登録は若い世代の方は理解できると思うが、高齢者には分からない、各戸説明に行けないか。すぐメール可児への登録・使い方が理解できないかぎり、防災放送をやめてはいけない。
- ・登録は、毎年更新する必要が有ると聞いたが高齢者には対応が難しいと思う。

◎防犯灯、その他について

防犯灯設置に行政からの補助金はないかと今回個人でとりつけたが、(後で)自治会・自治連から一部助成して頂いた。

- ・通学路の所に倒木があり危ないと思うが、対応を。
- ・行政は倒木確認をしているのか、市に連絡しなければならないのか。市には連絡していないが、言わなければ対応しないのはおかしい。
- ・竹やぶも積雪で道路に覆いかぶさり危険、一度は対応してくれたが2度目は放置状態である。

・花フェスタ記念公園の周りは綺麗にしておくべきだ、市外・県外からの来園者もあり見苦しい。

以上

<4グループ> 報告者 野呂和久 記録者 勝野正規

議会のトビラ・意見無

テーマ「災害への備えについて」

『総務企画委員会所管分』

- ・食べることは何とかなるが、水の確保は厳しいので、自己責任におい

て水の確保に努めることを市として一層 PR すべき。

- ・地域（久々利）として積極的に防災士の資格を取得し、防災に関心を持つようにしているが、「女性が少ない」「高齢者が多い」という課題がある。また、子どもを預かる保育士・学校の先生の資格取得も必要である。
- ・災害メールへの登録も必要であるが、情報発信の一つの手段として、可児市バージョンの防災アプリを作成する必要はないのか。

**『建設市民委員会所管分』**

- ・大規模停電時には、事業者の人員不足もあり混乱するため、災害時に地域の核となる地区センターにある程度容量の大きな自家発電装置を整備すべきではないか。
- ・太陽光パネル設置の開発は、現段階では法的に規制が厳しいが、防災の観点（山林の保水力の低下等による崩落）から行政としての規制対策を検討されたい。
- ・地震時における水道管の耐震性は十分なのか。（水道事業計画により、順次進めていると回答）

平成 30 年 11 月 16 日

可児市議会議長 様

可児市議会報告会開催要領の規定により提出します。

議会報告会

久々利地区センター会場

班長伊藤健二